

□主な内容

【第 48 回 EST 創発セミナー in 伊勢の開催について】

8 月 29 日(木)に、EST 交通環境大賞で大賞(国土交通大臣賞)を受賞した三重県伊勢市において、第 48 回 EST 創発セミナーを開催する予定でしたが、台風 10 号の影響で【延期】いたします。

【EST メールマガジンの読者アンケートを実施しています】

EST メールマガジンの改善に役立てるため、読者アンケートを実施しています。アンケートへのご協力をお願いいたします。

<https://forms.gle/56h1W7kyPg1e3dBY7>

□目次

2. 寄稿(1)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 217 回)

●被災からの復興、グリーンスローモビリティで地域を元気に！

【陸前高田しみんエネルギー株式会社 小出浩平】

3. ニュース／トピックス

●歩行空間ネットワークデータ整備仕様を改定しました ～効率的なデータ整備・更新によるバリアを考慮した歩行者ナビサービス等提供の更なる促進に向けて～【国土交通省】

●令和6年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」の交付を決定しました【国土交通省】

●「自動物流道路のあり方 中間とりまとめ」を公表しました ～「危機」を「転機」とする自動物流道路～【国土交通省】

●「新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業」(補助事業)の二次募集を開始しました【国土交通省、資源エネルギー庁】

●「令和6年度予算 港湾における脱炭素化促進事業」の2次公募について【環境省】

●「ダブル連結トラック」の対象路線拡充に関して、パブリックコメントを実施しています【国土交通省】

●「日野市北東地域におけるデマンド交通実証実験に関する協定」を締結しました ～交通空白地域解消に向けた第一歩～【日野市、京王電鉄バス、日野交通】

●自動運転バスの実証運行を実施しています【当別町】

●川崎市が行う自動運転バスの運行ルート・運行時期が決まりました！【川崎市、川崎市自動運転実装推進協議会】

- 8月1日に九州 MaaS がサービスインしました【九州 MaaS 協議会】
- 鉄道の環境優位性を PR する動画を制作・公開しました【日本民営鉄道協会】
- 自動運転サービスの社会実装をさらに加速、Navya Mobility へ出資【NTT 西日本、マクニカ、Navya Mobility SAS】
- 新型 EV 車両発表試乗会を開催しました【タジマモーターコーポレーション】
- 脱炭素化に資する事業を投資対象とするファンドへの出資について ～脱炭素社会の実現と地方創生に貢献～【芙蓉オートリース、株式会社ドーガン】
- バッテリー交換式 EV トラックの公道実証を開始【三菱ふそうトラック・バス、ヤマト運輸、Ample 社】
- 自動追尾型 EV ごみ収集車に関する環境省の実証事業に参画 ―電気小型トラック「eCanter」新型モデルをベースにしたコンセプトモデルを開発―【三菱ふそうトラック・バス】
- 2023 年にバッテリー式 EV の登録数が大幅増と発表【Eurostat】

#### 4. イベント情報

- 「ヤマノテクエスト ～目指せ！山手線マスター～」【2024/5/22-8/31】
- GO！GO！千曲川飯山線サイクルトレインプラン夏【2024/7/1-9/30】
- グリーン経営認証取得講習会【2024/8/28】
- 第 48 回 EST 創発セミナー in 伊勢〔中部〕【2024/8/29】
- グリーン物流セミナー(鉄道版)【2024/9/18】
- 第 9 回 おでかけ交通博 2024 in つるおか【2024/10/4】
- 本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！列車運転シミュレーター 西日本鉄道【2024/10/5】
- 本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！列車運転シミュレーター 日本貨物鉄道【2024/10/19】
- 本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！列車運転体験 筑豊電気鉄道【2024/10/19】
- 本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！列車運転体験 鹿児島市交通局【2024/10/26】
- 本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！列車運転シミュレーター 西日本旅客鉄道【2024/11/16】

#### 5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

●記事募集中！

---

---

1. 寄稿(1)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 216 回)

●被災からの復興、グリーンスローモビリティで地域を元気に！

【陸前高田しみんエネルギー株式会社 小出 浩平】

2011 年の東日本大震災により大きな被害を受けた陸前高田市。課題が山積する中で、「環境」「食料」「エネルギー」などの資源を循環させながら地域を活性化させるプラットフォームを目指して、2019 年「陸前高田しみんエネルギー」が誕生しました。

2015 年頃から陸前高田市に関わり始めた私に、味噌醤油作り約 200 年の八木澤商店の河野社長から「今後の陸前高田の大きな課題は一人暮らしが多くなることによって生じる孤独による自死」と言われました。私は地域文化やコミュニティ再生に寄与したいと強く思い、様々なことを検討しました。その中で、行きついた一つの答えが「グリーンスローモビリティ(グリソ口、時速 20 km未満の徐行運転)」でした。

私の原体験は、大学の卒業旅行で訪れたスイス・ツェルマットにあります。電車で降り立った駅から宿泊するユースホステルまで、恐る恐るグリソ口に乗車したところ、地元の方から「どこから来たの？」と声を掛けられました。ゆっくり走っているので、会話が弾んだことを昨日のことのように思い出します。乗り物、というよりもコミュニケーションの場でした。更に調べると、ツェルマットではそのグリソ口を地元で製造していると知り、またビックリ、いつか日本にも！と感じました。



(出所 ITmedia ビジネスオンラインEVと馬車しか走れない——ある観光都市の交通政策：松田雅央氏 2010 年 2 月 3 日)

それから 30 年の時を経て 2019 年、陸前高田市にて、環境省の助成事業を活用し、4 日間、シンクトゥギャザー社(群馬県桐生市)製 ECOM8(10 人乗り)を試走させました。企画当初は、「時速 20 km未満では交通渋滞が発生するのではないか」「乗車したお客様からクレームが出るのではないか」など、否定的な意見が多く寄せられました。しかし結果的には乗車さ

れた方の満足度は非常に高く、クレームはゼロ、更に数か月間、「今度いつ運行するの？」という問い合わせが続きました。



その後、市が環境省の助成事業を活用して、シンクトゥギャザー社製 ECOM4(7人乗り)を二台購入し、しみんエネルギーが中心となって設立した一般社団法人陸前高田グリーンスマートモビリティが無償で借り受け、22年4月から自家用有償旅客運送事業を始めました。休日は道の駅を中心に観光のお客様にご利用いただき(30分ごと運行、乗り放題500円)、平日は3日間、復興住宅と中心市街地を結び買い物のサポートをしています(1回100円)。年間約5000の方に利用いただいておりますが、単なる移動手段ではなく、観光のお客様とドライバーさんとの会話や市民のコミュニケーション場となっています。しみんエネルギーのメンバーが運営をしていますが、それ以上に、地域の8名の有志の方々がドライバーとして支えて下さっています。心から感謝をしています。

今後、数10年かけて、ツエルマツトのように、地域でEVが製造できるようになりたい、と考えています。写真は、サポートいただいているシンクトゥギャザー社開発中の ECOM2(二人乗り、軽自動車タイプ)です。このようなタイプのEVの製造も視野に入れていきます。どうぞ、これからの陸前高田市にご注目下さい！



---

### 3. ニュース／トピックス

●歩行空間ネットワークデータ整備仕様を改定しました ～効率的なデータ整備・更新によるバリアを考慮した歩行者ナビサービス等提供の更なる促進に向けて～【国土交通省】

国土交通省は、電動車椅子や自動配送ロボット等の普及を見越し、歩行空間を利用するモビリティの性能の違いにも対応できる仕様に変更することで、より効率的なデータ整備・更新が可能となるよう、歩行空間における幅員や縦断勾配、段差等のバリア情報をデータ化する際の仕様を定めた「歩行空間ネットワークデータ整備仕様」を改定しました。これにより、従来の自治体が提供するバリアフリーマップや詳細なバリアフリーナビでの活用のみならず、簡易版のバリアフリーナビや自動配送ロボットにも活用の幅が広がります。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo23\\_hh\\_000172.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo23_hh_000172.html)

●令和6年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」の交付を決定しました【国土交通省】

国土交通省は、令和6年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」の応募案件について、計画策定経費補助18件、運行経費補助14件の交付決定を行いました。

モーダルシフト等推進事業費補助金では、モーダルシフト等の物流効率化を図る取組みにおいて、「協議会の開催等、物流総合効率化法に基づく総合効率化計画の策定のための調査事業に要する経費」や「認定を受けた総合効率化計画に基づき実施するモーダルシフト及び幹線輸送の集約化、過疎地域のラストワンマイル配送の効率化、中継輸送の初年度の運行経費」に対して支援を行うとともに、省人化・自動化に資する機器の導入に対して支援を行っています。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000808.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000808.html)

●「自動物流道路のあり方 中間とりまとめ」を公表しました ～「危機」を「転機」とする自動物流道路～【国土交通省】

国土交通省は、トラックドライバーに対する時間外労働の上限規制の適用や、担い手不足などの物流危機への対応、温室効果ガス削減に向けて、新たな物流形態として、道路空間を活用した「自動物流道路」の構築に向けた検討を進めるために「自動物流道路に関する検討会」を設置しており、第1回検討会から第5回検討会までの議論を踏まえ、『自動物流道路のあり方中間とりまとめ』をとりまとめました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_001829.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001829.html)

●「新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業」(補助事業)の二次募集を開始しました【国土交通省、資源エネルギー庁】

国土交通省は、発荷主・輸送事業者・着荷主等が連携計画を策定し、高度なデジタル技術を活用したサプライチェーン全体の効率化や輸送計画と連携したEVトラックへの充電・

FCVトラックへの充填タイミング等の最適化実現に向けた実証事業「新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業」の二次募集を開始しました。公募期間は、9月13日までです。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000814.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000814.html)

●「令和6年度予算 港湾における脱炭素化促進事業」の2次公募について【環境省】

令和6年度当初予算「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(産業車両等の脱炭素化促進事業のうち、港湾における脱炭素化促進事業)」について、執行団体である(公財)北海道環境財団が2次公募を開始しました。

本事業は、船舶へ電力を供給する再生可能エネルギー由来の電源を用いた設備等の導入やコンテナターミナル等において、コンテナ貨物を取り扱うハイブリッド型・EVEV型トランスファークレーン、ハイブリッド型・EVEVストラドルキャリア等の荷役機械の率先導入の支援を行うものです。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_03548.html](https://www.env.go.jp/press/press_03548.html)

●「ダブル連結トラック」の対象路線拡充に関して、パブリックコメントを実施しています【国土交通省】

国土交通省は、1台で通常的大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の対象路線について、物流事業者のニーズ等を踏まえ、主な通行経路となる区間のさらなる拡充を行うため、「長さが21メートルを超えるフルトレーラ連結車に係る特殊車両の通行許可の取扱いについて」の一部改正に関するパブリックコメントを実施しています。募集期間は、9月2日までです。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_001828.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001828.html)

●「日野市北東地域におけるデマンド交通実証実験に関する協定」を締結しました ～交通空白地域解消に向けた第一歩～【日野市、京王電鉄バス、日野交通】

日野市、京王電鉄バス株式会社及び日野交通株式会社は、「日野市北東地域におけるデマンド交通実証実験に関する協定」を締結しました。

2023年4月に運転手不足が要因となり、京王電鉄バス株式会社が運行する路線バス立66運行系統が実質廃止となったことで、日野市は地域住民と協働して、新たな地域公共交通の補完策としてデマンド交通の導入について検討を重ねてきました。

本協定は、交通不便地域の解消及び市内公共施設等への交通アクセスの確保を図り、すべての市民が気軽に親しみをもって利用できるデマンド交通を活用した実証実験を実施するとともに、将来的なデマンド交通予約システムのさらなる発展に向けた研究を進めていくことを目的とするものです。デマンド交通の実証実験は2025年1月から開始します。

<https://www.city.hino.lg.jp/press/1026437/1027274.html>

●自動運転バスの実証運行を実施しています【当別町】

当別町は、ロイズタウン駅周辺の賑わい創出に向けた取組みとして、2023 年度に引き続き自動運転バスの実証運行を行っています。今回は、2023 年度も登場した自動運転バス「ARMA」と、2024 年度より登場する自動運転バス「EVO」の 2 台で実証運行を行います。

<https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/soshiki/machisaisei/41504.html>

●川崎市が行う自動運転バスの運行ルート・運行時期が決まりました！【川崎市、川崎市自動運転実装推進協議会】

川崎市は、最先端の自動運転技術を活用した路線バスの実証実験を行うに当たって、ルートや時期等の事業概要を 2024 年 8 月 2 日に開催したプレス向け説明会で発表しました。

2025 年 1 月から全国初の都道府県をまたぐルートと 1 日 30 万人以上の人々が利用する川崎駅前を走行するルートにおいて、最先端技術と最新の自動運転 EV バス車両を導入した実証実験を行います。

2027 年度のレベル 4 実装を目標に、2024 度は 2 つのルートでレベル 2 での実証実験を重ね、得られた知見やノウハウを活用し、他のバス路線への戦略的導入や臨海部における自動運転を活かしたまちづくりなどを進め、自動運転技術を活用して多くの都市が抱える交通課題への解決策をワンパッケージで横展開できる「川崎モデル」の構築を目指します。

<https://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000167580.html>

●8 月 1 日に九州 MaaS がサービスインしました【九州 MaaS 協議会】

九州 MaaS 協議会は、九州のおでかけをもっと楽しく、もっと便利にしていくプロジェクトである「九州 MaaS」を、8 月 1 日にサービスインさせました。サービスインにあわせ、17 券種のデジタルチケットが新規に発売開始されました。すべてのチケットは、「九州 MaaS」のプラットフォームであるスマホアプリ「my route」上にて販売されています。

<https://kyushu-maas.jp/news/727>

●鉄道の環境優位性を PR する動画を制作・公開しました【日本民営鉄道協会】

日本民営鉄道協会は、環境にやさしい鉄道の利用促進を目的として、鉄道の環境優位性を PR する動画を公開しました。

本動画は全 4 話からなり、若いカップルが休日に旅行する内容のドラマ仕立てで、計画、移動、現地観光へとストーリーが展開します。そして、二人の話題に寄り添うようにして、鉄道を応援する俳優/タレントの村井美樹さんが登場、鉄道を移動手段として選択することが、カーボンニュートラル実現への近道につながることを優しくレクチャーしていきます。

[https://www.nishitetsu.co.jp/ja/news/news20240724\\_2/main/0/link/24\\_045.pdf](https://www.nishitetsu.co.jp/ja/news/news20240724_2/main/0/link/24_045.pdf)

●自動運転サービスの社会実装をさらに加速、Navya Mobility へ出資【NTT 西日本、マクニカ、Navya Mobility SAS】





---

#### 4. イベント情報

●「ヤマノテクエスト ～目指せ！山手線マスター～」

日時:2024年5月22日(水)～8月31日(土)

場所:山手線沿線

対象:小学1年生～3年生と家族

※小学1年～3年以外も参加可能

主催:JR東日本首都圏本部

[https://www.jreast.co.jp/press/2024/tokyo/20240515\\_to01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2024/tokyo/20240515_to01.pdf)

●GO！GO！千曲川飯山線サイクルトレインプラン夏

日時:2024年7月1日(月)～9月30日(月)

場所:森宮野原駅～飯山駅

主催:JR東日本

[https://www.jreast.co.jp/press/2024/nagano/20240612\\_na01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2024/nagano/20240612_na01.pdf)

●グリーン経営認証取得講習会

日時:2024年8月28日(水)13:30～16:30

場所:(一社)滋賀県トラック協会 トラック総合会館 視聴覚室(3階)

主催:国土交通省近畿運輸局

<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/000326281.pdf>

●グリーン物流セミナー(鉄道版)

日時:2024年9月18日(水)13:00～16:20

場所:大阪合同庁舎第1号館第1別館2F大会議室

主催:関西グリーン物流パートナーシップ会議、大阪地方通運業連盟、(公財)鉄道貨物協会

<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/000330028.pdf>

●第9回 おでかけ交通博 2024in つるおか

日時:2024年10月4日(金) 午前の部 10:30～12:00

午後の部 13:00～17:00

場所:東京第一ホテル鶴岡(鳳凰の間、鶴の間)

主催:東北運輸局交通政策部交通企画課

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/content/000326108.pdf>

●本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！列車運転シミュレーター 西日本鉄道

日時:10月5日(土)①9:30~10:30 ②11:00~12:00

場所:電車教習所(福岡県久留米市宮の陣)

対象:小学1年生~3年生(保護者同伴)

主催:「鉄道の日」九州実行委員会、国土交通省九州運輸局

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000330180.pdf>

●本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！列車運転シミュレーター 日本貨物鉄道

日時:10月19日(土)①10:00~12:00 ②13:00~15:00

場所:門司機関区(訓練室)

対象:小学3年生~6年生(保護者同伴)

主催:「鉄道の日」九州実行委員会、国土交通省九州運輸局

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000330180.pdf>

●本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！列車運転体験 筑豊電気鉄道

日時:10月19日(土)①10:00~12:00 ②14:00~16:00

場所:楠橋車庫内(福岡県北九州市八幡西区)

対象:小学3年生~6年生(保護者同伴)

主催:「鉄道の日」九州実行委員会、国土交通省九州運輸局

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000330180.pdf>

●本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！列車運転体験 鹿児島市交通局

日時:10月26日(土)①9:00~12:00 ②13:00~16:00

場所:神田車両基地(鹿児島県鹿児島市上荒田町)

対象:小学3年生~6年生(保護者同伴)

主催:「鉄道の日」九州実行委員会、国土交通省九州運輸局

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000330180.pdf>

●本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！列車運転シミュレーター 西日本旅客鉄道

日時:11月16日(土)①10:00~12:00

場所:博多駅構内

対象:小学1年生~6年生(保護者同伴)

主催:「鉄道の日」九州実行委員会、国土交通省九州運輸局  
<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000330180.pdf>

---

## 5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html)

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html)

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組や話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecommo.or.jp](mailto:magazine@ecommo.or.jp)(担当: 岡本)

---

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>